

日本給食経営管理学会 研究助成制度の変更

日本給食経営管理学会

理事長 赤尾 正

学術部 研究委員会

委員長 松月 弘恵

日本給食経営管理学会では2010年度から研究助成事業を行っており、これまでもその成果を日本給食経営管理学会誌に掲載してまいりました。しかし、給食経営の環境の変化や、新たな生産システムに対応することを目的として、MSWG 2 (Mission Statement Working Group 2) では、学術研究のあるべき姿とそのエビデンスも構築に向けて議論を重ね、以下のように研究助成制度を見直すこととなりました。これらの事項は2017年第13回日本給食経営管理学会の総会で承認された事項であり、会員の皆さまにおかれましては既にご存知のことと思います。主たる変更点は、「3. 研究助成の対象とする研究内容・期間」であり、それ以外の内容の変更はありません。

3. 研究助成の対象とする研究内容・期間

研究期間は原則として1年間とし、指定研究2題と一般研究1題を対象とする

1) 指定研究のテーマ: 「効率的な給食システム、運営管理」

1. 医療介護領域: 施設に応じた調理システムとその運用
2. 健康増進領域: 運用の効率性からみた給食の評価

2) 一般研究

以 上